

第 61 回トキシシンポジウム プログラム

(Y:若手奨励演題、O:シンポジウム指名講演)

9月3日(水) 第1日

12:00 受付開始

14:00 開会
実行委員長挨拶

14:05 連絡事項、若手奨励賞投票に関する説明

若手奨励演題

14:10 セッション 1 座長: 近藤昌夫(阪大・院・薬・生体機能分子化学分野)

Y-1 ウエルシュ菌 ϵ 毒素のオリゴマー形成機構の解析 (12分)

○高岸照久¹、名尾三佳¹、高松輝実¹、清家総史¹、小田真隆²、小林敬子¹、永浜政博¹
¹徳島文理大・薬・微生物学、²新潟大・院・医歯総合・微生物感染

Y-2 現行ワクチン導入後の国内臨床分離株に見られる百日咳毒素の変化 (12分)

○齋藤桃子、鈴木英里、渡邊峰雄
北里大・院・感染制御科学府

Y-3 マクロファージにおけるピロトーシスに対する抗菌ペプチド LL-37 の制御作用 (12分)

○胡忠双、村上泰介、鈴木香、田村弘志、長岡功
順天堂大・医学研究科・生化学・生体防御学

Y-4 微生物毒素パラスポリン 2 の細胞認識を利用した生体での抗がん効果と作用解明
(12分)

○本村恭平¹、麻崎一哉¹、岩崎新司¹、木村雄作¹、日下雅友²、北田栄³
¹九州工業大・院・情報工学府・情報科学専攻・生命情報工学分野
²純真学園大・保健医療学部・検査科学科
³九州工業大・院・情報工学研究院・生命情報工学研究系

14:58 休憩

15:15 セッション 2 座長： 松井太衛(藤田保健衛生大・医療科学・臨床検査)

Y-5 B型ボツリヌス菌由来ヘマグルチニンのX線結晶構造解析 (15分)

○阿松翔、菅原庸、松村拓大、北所健悟、藤永由佳子
阪大・微研・感染細胞生物学

Y-6 ヘビ毒ADAMによって誘導される特徴的な細胞骨格の再構成 (15分)

○瀬尾忠彦、野中淳、澤田均、荒木聡彦
名大・院・理学研究科

Y-7 ハブ毒由来金属プロテアーゼ flavorase に対するハブ血清蛋白質 SSP-3 の相互作用解析 (12分)

○半田祥哲、塩井成留実、寺田成之
福岡大・理学部

Y-8 クサリヘビ科ヘビの分泌型ホスホリパーゼ A₂ 遺伝子クラスターの起源と分子進化 (15分)

○山口和晃¹、千々岩崇仁¹、上田直子²、柴田弘紀³、服部正策⁴、服巻保幸³、
大野素徳¹

¹崇城大・院・工学研究科・応用生命科学専攻・生命情報科学講座、²崇城大・薬・生化学、
³九州大・生体防御医学研究所・トランスオミクス医学研究センター、⁴東京大・医科研

16:12 休憩

シンポジウム指名講演

16:30 セッション 3 座長： 北将樹(筑波大・数理物質系・化学域)

O-1 *Mycobacterium ulcerans*が産生するマイコラクトンの疼痛抑制作用 (20分)

○篠田典子¹、櫻田誓²、齋藤肇³、渡邊峰雄¹

¹北里大・院・感染制御科学府、²日本薬科大、³島根大・医

- O-2 血管内皮細胞による LPS の取り込みに対するヒト抗菌ペプチド LL-37 の促進作用
(20 分)
○鈴木香、胡忠双、田村弘志、長岡功
順天堂大・医学研究科・生化学・生体防御学
- O-3 Pyhin 1はマクロファージのLPSによるINF-betaと一酸化窒素(NO)産生を正に制御する
(20分)
○小出直樹、横地高志
愛知医科大・医・感染免疫学
- 17:30 第1日目 プログラム終了
事務連絡・チェックインなど
- 18:30 夕食・懇話会

8:45 連絡事項

シンポジウム指名講演

8:50 セッション 4 座長: 妹尾充敏(国立感染研・細菌第二部第三室)

O-4 *Streptococcus intermedius*が保有するグリコシダーゼの病原性に果たす役割について
(20分)

○友安俊文、今木英統、田上千遥、山本直輝、田端厚之、長宗秀明
徳島大・院・STS・ライフシステム

O-5 *Aeromonas sobria* セリンプロテアーゼのスキムミルクによる産生亢進 (20分)

○高橋栄造、山下哲也、尾崎晴香、岡本敬の介、三好伸一
岡山大・院・医歯薬学総合・薬学系

O-6 *Aeromonas*の腸管上皮バリア破壊機構の解析 (20分)

○小林秀丈¹、岡本敬の介²、山中浩泰¹
¹広島国際大・薬・分子微生物科学、²岡山大・院・医歯薬学総合・薬学系

O-7 ボルデテラ壊死毒素研究の最近の進捗について (20分)

岡田圭祐、照屋志帆乃、安倍裕順、福井理、○堀口安彦
阪大・微研・分子細菌学

10:10 休憩

10:20 セッション 5 座長: 小出直樹(愛知医科大・微生物免疫学)

O-8 腸管出血性大腸菌の産生するSubABの細胞障害機構の解明 (20分)

○八尋錦之助、野田公俊
千葉大・院・医学研究院・病原細菌制御学

O-9 結晶構造解析により明らかになった黄色ブドウ球菌由来膜孔形成毒素の分子機構
(20分)

○田中良和¹、山下大智¹、菅原宇希¹、金子淳²、神尾好是²、田中勲¹、姚関¹
¹北海道大、²東北大

O-10 ボツリヌスC型神経毒素の細胞内動態の可視化と細胞内侵入機構について (20分)

○塚本健太郎、尾関千賀子¹、幸田知子²、小崎俊司²、辻孝雄¹
¹藤田保健衛生大・医・微生物、²大阪府大・院・生命環境・獣医感染症

11:20 休憩

11:30 昼食・運営委員会

12:30 総会(若手奨励賞の発表および表彰)

特別講演

13:00 特別講演 座長: 長宗秀明(徳島大・院・STS・ライフシステム)

感染防御のかなめ Tリンパ球を産生する胸腺の形成と機能

高浜洋介 先生

徳島大学疾患プロテオゲノム研究センター

14:00 休憩・移動

14:30 エクスカーション(大塚国際美術館にて芸術鑑賞)

17:00 第2日目 プログラム終了・移動

18:00 懇親会

9月5日(金) 第3日

8:55 連絡事項

シンポジウム指名講演

9:00 セッション6 座長: 田端厚之(徳島大・院・STS・ライフシステム)

O-11 毒素産生性 *Clostridium difficile* の新規遺伝学的検査法の開発 (20分)

○妹尾充敏、加藤はる、福田靖、柴山恵吾

国立感染研・細菌第二部

O-12 ガス壊疽菌群コラゲナーゼの基質結合ドメインと再生医療への応用(第2報) (20分)

○松下治¹、美間健彦¹、後藤和義¹、西望²、小出隆規³、内田健太郎⁴、高相晶士⁴、
服部俊治⁵、田中啓友⁵、小倉孝之⁵、Ryan Bauer⁶、Joshua Sakon⁶

¹岡山大・院・医歯薬・病原細菌学、²香川大・総合生命科学研究センター、

³早稲田大・先進理工・化学生命化学、⁴北里大・医・整形外科学、

⁵(株)ニッピ・バイオマトリックス研究所、⁶アーカンソー大・化学生化学

9:40 休憩

9:55 セッション7 座長: 塩井成留実(福岡大・理・化学科・機能生物化学)

O-13 アカクラゲ乾燥粉のくしゃみ誘発原因の探求 (20分)

○犀川陽子、秋吉佑磨、井上大樹、秋濃真紀子、中田雅也

慶應義塾大・理工・応用化学

O-14 南米産イソギンチャク *Bunodosoma cangicum* より得られた新規ペプチド神経毒の構造と
生物活性 (20分)

○紺野勝弘¹、数馬恒平¹、梅寄雅人¹、春木孝之²、竹下真央²、二瓶賢一³、
Andre Zaharenko⁴、Steve Peigneur⁵、Jan Tytgat⁵

¹富山大・和漢研、²富山大・工、³宇都宮大・農、⁴ブタンタン研、⁵ルーベン大

10:35 休憩

10:50 セッション 8 北将樹(筑波大・数理物質系・化学域)

O-15 グルタミン酸アナログ類の昆虫麻痺活性とグルタミン酸受容体サブタイプ選択性 (20分)

○品田哲郎、山寄敦子、大船泰史

大阪市大・院・理学研究科

O-16 VWF-GPIb依存性血小板凝集を惹起するヘビ毒ボトロセチンの発現と機能制御 (20分)

○松井太衛^{1,2}、堀有沙²、濱子二治^{2,3}、松下文雄^{1,2}、高岸菜穂²、松本雅則⁴、藤村吉博⁴

¹藤田保健衛生大・医療科学・臨床検査、²藤田保健衛生大・院・保健学研究科、

³藤田保健衛生大・医療経営情報、⁴奈良県立医科大・輸血部

O-17 限外濾過法を用いた蛇毒ディスインテグリンの探求と *Dendroasapis angusticeps* (ヒガシグリーンマンバ) 毒中の血小板凝集阻害物質の精製・性質 (20分)

○大山悦子

明治薬科大・薬・薬学科

11:50 第3日目 プログラム終了

実行委員長挨拶

次期実行委員長挨拶

閉会